

科 目 名
-------

<b>自然共生人類学</b> <b>Symbiosis Anthropology</b>
---

1年 前期 2単位 選択

上 岡 龍 一

## 概 要

地球上の多種多様な生物はどのようにして生み出されてきたのであろうか。これを探るのが進化学最大の問題である。進化は生存競争と自由淘汰によるものとするダーウィン進化論を超えて、「共生」という視点から進化を問い直す時代が到来している。既存の生物どうしを様々なレベルで組み合わせる「共生」によって新しいものを創造する試みも、進化の一つのプロセスと考えることができる。分子の絡み合いから人間のもつ思想まで、いろいろな段階での生命の営みを共生という一つの切り口で論じてみる。

## 目 標

人類にとって自然との共生が21世紀の重要テーマであり、その可能性を探る。

## 授業計画

テ ー マ	内 容
① 共生とは何か	生きものたちのきずな
② 共生の諸相	共生の海や根粒バクテリア
③ 昆虫に手なづけられた微生物	昆虫の細胞内共生微生物
④ 細胞器官の起源	共生説の系譜や連続共生説
⑤ 進化における性と共生	性と共生について
⑥ 思想としての共生	自然と人間の共生について
⑦ 人間は宇宙の中心か	宇宙と人間、そして知性

## 評価方法

試験と出席率および平常点より総合的に評価する。